



2019 女子ハンドボール 世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019



戦況用紙

開催日	2019年 11月 30日 土曜日	試合コード	7
開催地 (都道府県名)	熊本県	会場名	山鹿市総合体育館

結果	A	スコア		B
			前半	
		14-11		
		後半		
		16-13		
		第一延長前半		
		—		
		第一延長後半		
		—		
		第二延長前半		
		—		
		第二延長後半		
		—		
		7mc		
		—		
		—		
	ドイツ	30	24	ブラジル
	GER			BRA

戦況	見出し	
	前半	<p>ブラジルのスローオフで始まったグループBの初戦は、BRA No. 7のポストプレーで得点すると、ドイツもNo. 20のカットインプレーですぐさま同点とする。その後序盤は、互角の戦いが続いたが5分過ぎからドイツが得点を重ね、10分過ぎには7-4とリードを奪う。しかしここからブラジルのGK No. 12の活躍もあり徐々に点差を縮めていく。BRA No. 18のシュートフェイントからの得点、No. 7のポストプレーで7mを奪い、No. 3がしっかりと決め23分にはついに9-9の同点とする。加えてドイツは1人退場の苦しい場面であったが、ここでドイツGK No. 12がファインセーブを連発し、それに応えるようにNo. 17が連続得点していく。退場が解けた後もGER No. 32の連続得点やNo. 7の速攻プレーで加点し、ドイツが14-11の3点リードで前半を折り返した。</p>
	後半	<p>後半はドイツのスローオフで始まったが、共にシュートを決めきれない時間帯が続いた。2分過ぎにドイツが退場者を出したところで、BRA No. 18がロングシュートを決めて2点差とし得点が動き出すと、ドイツもNo. 4のカットインプレーで応戦する。しかしブラジルもすぐさまNo. 21がサイドシュートを決める。そしてブラジルは7mスローのチャンスを奪うが、ドイツGK No. 12がこれをシャットアウトし、主導権を渡さない。その後、ドイツはNo. 4の連続得点やNo. 3のRWからの得点で引き離しにかかる。13分過ぎに再びブラジルは7mスローを得るが、ここでもGER No. 12が止め、ルーズボールからのシュートもシャットアウト。18分過ぎBRA No. 2の鋭い1対1で4点差、再びBRA No. 2のフェイントからNo. 22へ絶妙のパスが渡り、これを粘って沈めて3点差とする。ブラジルに流れが傾きかけたが、ドイツもNo. 15、No. 29らが得点し、最終的に6点差でドイツが初戦を勝利した。</p>



戦況作成者	松本 政之
-------	-------